



まごころドーナッツより

Vol.39

2025年10月発行

・町の一員として、お神輿をかついできました



9月14日に氷川神社の例大祭のお神輿担ぎに参加してきました。私は、はじめての参加でしたが、非日常のお祭りの熱気を体感し、みんなのパワーの集結を感じることができました。地域の方々の温かみもとても感じ、休憩所での差し入れなどは、本当にありがたいものでした。このお祭りは、昔から受け継がれてきている行事、まだ参加していない若者たちにも、お祭りの良さを感じてもらい、これから先も絶やさず、次世代へも引き継がれていくといいなと思いました。お世話になった、町会の皆さまありがとうございました。
(スタッフ 大久保)

<参加したメンバーの感想>

昨年に引き続き2回目の参加でしたが、当日メンバーで参加したのが僕1人だった中で、スタッフの田中さん、山下さん、大久保さんの他に、以前お世話になった就労移行支援事業所のスタッフさんが2名いらして下さり、人手が足りたのは本当に助かりました。

おかげ様で、時折交代をしながら、最後までお神輿を担ぐことができました。ちなみに”なるべく体力を温存しながらお神輿を担ぐコツ,,”ですが、”少しでも体力に疲れを感じたら、すぐにお神輿の後ろにいる人と場所を交代して、その間の少しの時間で、体力を回復させること,,”だと思います。

(メンバー R.I)



・東部まつり ～プラバンは今年也大盛況！！～

9月27日(土) 東部まつり「みんなのひろば」に、『オリジナルプラバンづくり』で参加しました。今年は若者2名と地域サポーター1名、スタッフ2名で延べ99名もの地域の方々やお子様がオリジナリティあふれるオリジナルプラバンのイラストや文字を彩ってくれ、メンバーたちがフックを取り付けてお渡しすると、大変喜んでくださいました。事前にまごころドーナッツのプログラムとしてメンバーたちが準備をしたり、当日の役割分担などの打ち合わせをしたのが、今年の『オリジナルプラバンづくり』を無事にできたことの大きな力となったのは言うまでもありません。

そして当日参加できなかったとは言え、準備に積極的に参加し、取り組んでくれたメンバーは、もちろん盛況に終了したことへ加担してくれたと言えるでしょう。

(スタッフ 山下征桐)



<参加したメンバーの感想>

事前に話に聞いていた限りでは「当日は何か忙しくて大変そうだな・・・」と何となく思っていたのですが、実際当日になって担当してみると、思ったよりもスムーズに場を回す事ができたので、また来年も予定が空いていて参加できそうであれば、ぜひ参加しようと思います。

昨年参加していたメンバーの黒音さんも今年参加してくれて、また、まごころドーナッツの地域サポーターのじゅんじさんも参加していただいたので、僕としても安心して、プラバンの焼き作業に臨むことができました。

(もちろん、スタッフの田中さんと山下さんにも助けられました。)

(メンバー R.I)



・まごころキッチン ～炊き込みご飯～

昼過ぎから雨の日でした。小雨の中スーパーに買い出しに行きました。スーパーに着くとたくさんの炊き込みご飯の素が売ってました。たけのこやらあさりやらタコやら鮭貝柱や松茸など。買い出しの予算が1,000円とのことだったので、収まるように考え、何がいか相談しているとその中で「松茸一択です」との声が上がり松茸の炊き込みご飯にすることにしました。私は栗やさつまいもが嫌いなのでそれ以外ならなんでも良いと思っていました。1,000円札を握りしめ松茸の炊き込みご飯の素を買い、帰ろうとしたところ結構な雨が降っていました。



びしょ濡れになりながらまごころドーナッツへと戻り、お米を四合入れて炊き込みご飯の素を入れて炊きました。炊きあがりまでの一時間ちょいは、ダラダラ話したりしていました。好きなアニメの話や今日のまごころキッチンのご飯は夕飯になるのか、それともおやつなのかなど。ご飯が炊けたところでケトルでお湯を沸かし豚汁を作りました。フードパントリーからいただいたレトルトです。ご飯をよそって豚汁を出し、いよいよいただきますの時間。ですが、まごころドーナッツを見学しに来られたお客さんが居たのと、ご飯が余っていたので、お客さんにも食べてもらうことにしました。お客さんはとても喜んでいました。



さて、いただきますをし食べ始めましたが…ご飯が少し固かったです。水分量はきちんと計ったのですが、無洗米なのを忘れて普通的水分量で炊いてしまっていたのです。けれどもみんな美味しいと言って完食していました。以前に頂き物として残っていたシークワサージュースも飲みました。が、スタッフさんが飲みたいと言っていたのを忘れてみんなで飲み尽くしてしまいました。スタッフさんはガッカリしてました。

片付けをして本日のまごころキッチンはおしまいです。私は夕飯は食べないと言っていたのですが、帰ってから夕飯をしっかりと食べてしまいました。

(メンバー 黒音)



・メンバーのルポ風連載 『自然な町会長』 part3

帰り道、siroは考えていた。直接言葉にはできない気持ちが人の目や表情にはある。音声や文章だけでは伝わらない気持ちが世の中には増え、必需品になってきたSNSは簡単に文章や写真、動画で情報を発信している。しかし生の気持ちはSNSには無い。文章は的確に表情やイントネーションを読み取る事ができず誤解を生む。写真や動画はできるだけ良く見せようと何度も試行錯誤ができる。つまり意思疎通ができたと思わせているだけで、本当の気持ちはSNSには無い事を。

あとがき：このボランティアは超自然的で面白かったです！！生の人と出会い、顔や目を見て話す事が人の気持ちをお互いに理解する上で非常に大切だと改めて感じています。もしよかったですら生の人と会ってちょっぴり会話してみませんか？

若い人の居場所まごころどーナッツのsiroより (完)

中野区若者フリースペース まごころドーナッツ

- 【所在地】 〒164-0011 東京都中野区中央1-41-2
中野区子ども・若者支援センター（愛称：みらいステップなかの） 4階
東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分
- 【電話】 03-5937-3664
- 【開所時間】 火曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く）11:30～19:00
※毎月、不定期で閉所日があります。
- 【対象】 中野区在住・在学・在勤の 義務教育終了後～39歳の方

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。→

